

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

| | | | |
|-------------------|------------|---|-------------|
| 平成 2 2 年度 実施事業 | | 事務事業名 ヘルスバイオニアタウン事業（短期人間ドック助成事業） | |
| 区分 | 番号 | 名称 | |
| 章 | 1 | やさしさと共生するまち | |
| 節 | 2 | 市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる | |
| 施策 | 2 | 保健予防活動の充実 | |
| 小分類 | 1 | 成人及び老人保健の充実 | |
| 主要な施策 | 1 | 各種検診の充実と受診率の向上 | |
| 事務事業番号 | 004 | 事務事業コード | 12211004 |
| | | 事業開始年度 | 平成 元 年度 |
| | | 事業終了年度 | 平成 - 年度 |
| 会計種別 | 国民健康保険特別会計 | | 予算書上の事務事業名 |
| | | | 短期人間ドック助成経費 |
| 部 名 | 保健福祉部 | グループ名 | 国民健康保険 G |
| 統合前または名称変更前の事業名 | | | |

| | |
|--------------|---|
| 事務事業の目的と成果 | |
| 目的 | <p>（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> <p>40歳未満の若い世代から、生活習慣病の予防を図っていくことを目的とする。</p> |
| 手段（事業の内容・活動） | <p>（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> <p>短期人間ドックを受診した被保険者に対し、受診料の一部を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 胃バリウム実施機関 ~ 検診料金36,750円の内、市補助金：34,250円・本人自己負担額：2,500円 胃カメラ実施機関 ~ 検診料金39,900円の内、市補助金：36,900円・本人自己負担額：3,000円 <p>20歳以上、40歳未満の登別市国民健康保険被保険者（原則として、保険税滞納世帯を除く） なお、40歳以上の被保険者の短期人間ドックについては、特定健康診査とみなし、特定健康診査の扱いで位置づけている。</p> |
| 成果 | <p>（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <p>短期人間ドックを受診することにより、疾病の早期発見・早期治療につなげる。</p> |
| 根拠法令等 | <p>（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> |

| | | | | | | | |
|-------|----|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| 指標の推移 | | | | | | | |
| 区分 | 単位 | 区分 | 22年度実績 | 23年度目標 | 24年度目標 | 25年度目標 | 26年度目標 |
| 成果指標 | 円 | 目標値 | 2,748 | 4,751 | 4,751 | 4,751 | 4,751 |
| | | 実績値 | 2,708 | | | | |
| | | 目標値 | | | | | |
| | | 実績値 | | | | | |
| | | 主な生活習慣病(高血圧・糖尿病・脂質異常症等)に係る1人当り医療費を全道平均以下にする(H23年5月レプト分析：上段が道・下段が当市) 疾病分類121分類より | | | | | |

事業費の推移

| 区 分 | | | 単位 | 22年度 決算 | 23年度 当初予算 | 24年度 見込 | 25年度 見込 | 26年度 見込 | 24～26 年度 |
|---------------------------------|-------|------------|-------|------------|--------------|------------|------------|------------|-------------|
| 事業の 財源内訳 | 国庫支出金 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 道支出金 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | 地方債 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| | その他 | 名称 国民健康保険税 | 千円 | 883 | 1,068 | 1,057 | 1,057 | 1,057 | 3,171 |
| | 一般財源 | 名称 | 千円 | | | | | | 0 |
| 合 計 | | | | 883 | 1,068 | 1,057 | 1,057 | 1,057 | 3,171 |
| (参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費 | | | 職 員 | 千円 | 332 | 341 | | | |
| | | | 嘱 託 員 | 千円 | 0 | 0 | | | |
| | | | 臨時職員 | 千円 | 96 | 98 | | | |
| | | | 合 計 | | 428 | 439 | | | |

担当グループによる事務事業評価の内容

| 1. 事務事業の妥当性について | | | |
|---------------------------------------|---|---|--|
| 今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？ | → | 妥当である 妥当ではない | → 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 短期人間ドックについては、受診しやすい環境づくりが重要であることから、市が検診料金を助成することは妥当である。 |
| 2. 事務事業の成果について | | | |
| 成果はあがっていますか？ | → | 成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない | → 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 短期人間ドックにより、疾病を早期発見・早期治療につなげることができる。 |
| 3. 事務事業の成果向上について | | | |
| 成果を向上させることはできますか？ | → | 大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない | → どのようにして向上させますか？向上させることができない理由は何ですか？ 短期人間ドックや各種健診等について周知したリーフレットを広報折込として全戸配布することで、受診につなげることができる。 |
| 4. 事務事業の経済性・効率性について | | | |
| 成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？ | → | 削減できる 削減できない | → どのような方法でコストを削減しますか？削減できない理由は何ですか？ これ以上経費を削減することは、受診者の自己負担額をあげることになり、受診率の低下につながるため、削減は難しい。 |

担当グループによる評価

| | | |
|-----------|----------------------|---|
| 維持 | 左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） | 短期人間ドックは、疾病の早期発見・早期治療につながるため、事業を維持していく。 |
|-----------|----------------------|---|

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

| | |
|-----------|----|
| 維持 | 備考 |
|-----------|----|

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力で推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）